

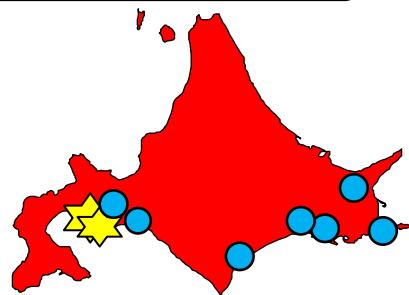
新潟県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの 続発が確認されました(今シーズン4例目)!

- HPAI ウィルスは、国内北から南までに侵入しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況 (令和7年シーズン)

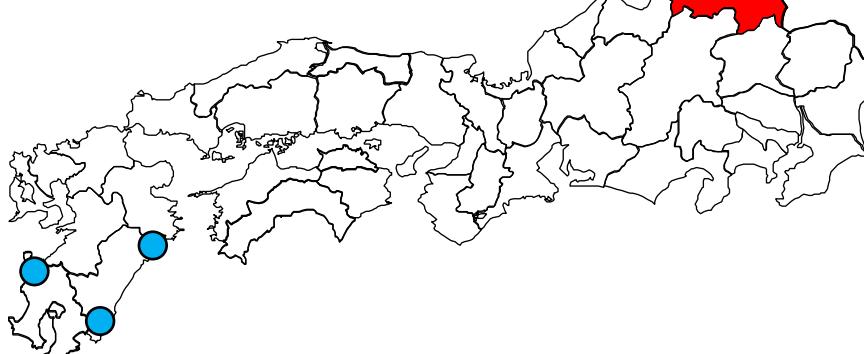
★ 家きん飼養農場での発生 (2道県4事例)

都道府県	発生日	飼養羽数	備考
北海道	R7.10.22	約45.9万羽	採卵鶏 防疫措置完了
北海道	R7.11.2	約23.6万羽	採卵鶏 殺処分完了
新潟県	R7.11.4	約63.0万羽	採卵鶏 殺処分中
新潟県	R7.11.9	約28.0万羽	採卵鶏 殺処分開始
計	4戸	約160.5万羽	



家きん飼養農場国内4例目

発生日: 11月9日
所在地: 新潟県胎内市(2例目)
飼養状況: 約28万羽(採卵鶏)



野鳥(1道3県13事例)
北海道: 苫小牧、根室、浦幌、
千歳、標茶、鶴居、中標津)
山形県: 三川
宮崎県: 日南、延岡
鹿児島県: 出水(環境試料)
HPAIウイルス検出

- ①衛生管理区域に立ちに入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ②家きん舎に立ちに入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL: 0771-42-3308 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)